

平成28年度第1回本埜地区地域審議会 会議録

- 1 **開催日時** 平成28年7月27日（水）午前10時～11時30分
- 2 **開催場所** 本埜保健センター 集団指導室
- 3 **出席者** 鳩貝 太郎 会長、土井 栄 委員、鳥羽 功雄 委員、岩井 とし子 委員、
田波 英俊 委員、土井 治夫 委員、颯佐 春美 委員
- 4 **欠席者** 山岡 従夫 委員、荒井 昭三 委員
- 5 **事務局** 山崎企画財政部参事、吉岡主幹、清水主査、金子主査
- 6 **傍聴者** なし
- 7 **議 事** (1) 平成27年度分行政評価結果について
(2) 審議会意見への対応方針について
- 8 **議 事 録 (要点筆記)**

事務局 : 本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。会議に先立ち報告をさせていただきます。

本日の出席委員についてですが、出席委員が7名でございますので定足数に達しており、会議が成立いたしますことを報告いたします。

次に会議の公開についてですが、会議は規定により公開とさせていただきます。本日の傍聴者はありません。

次に会議録の署名及び会議の録音についてですが、本日の会議の会議録署名委員は、鳩貝会長、田波委員にお願いいたします。また、会議録を作成する関係上、会議は録音させていただきますのでご了承願います。

最後に、4月の人事異動によりまして担当職員が替わっておりますので自己紹介をさせていただきます。

【自己紹介】

それでは、ただいまから平成28年度第1回本埜地区地域審議会を開催いたします。はじめに鳩貝会長より御挨拶をお願いいたします。

【会長挨拶】

事務局 : 次第に従い、議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、規定により鳩貝会長に議長をお願いいたします。

議 長 : それでは、議事(1)平成27年度分行政評価結果について、事務局より説明願います。

【事務局 議事(1)について説明】

議 長 : 事務局の説明が終わりました。行政評価結果についてご意見・ご質問を伺います。

委 員 : 施策番号6の消防・救急体制の充実の中で消防団員の数とあるが分母は何か。分母が変われば達成率もかわってくる。また、平成24年度からの団員数の目標と平成27年度の実績は何人だったのか。

事務局 : 事業評価表 22 番の消防団運営事業の成果指標中、目標値は条例上の定数となっており、772 名としております。実績としましては平成 27 年度で 674 名となっており、徐々に減少している状況です。

事務局としては、充足率が 8 割を超えておりますので、達成率はほぼ計画どおりであると考えておりましたが、減少していることは担当課としては危惧しており、評価としては B ではなく C 評価としております。

事務局 : 減少傾向にあることは、担当課としては厳しく評価しております。団員数の確保に向けて、OB の活用等を進めておりますが少子化もあり団員の確保は厳しい状況です。

委員 : 目標値の考え方について、目標値の設定は高すぎても良くないが、低すぎても意味が無い。届きそうで届かないところに目標値を設定することで組織としての向上心が生まれると思う。このやり方では行政の自己満足の評価でしかないのではないか。

事務局 : 昨年度、基本計画策定の際に同様のお話があり、素案の段階で低い目標値が設定されていたものを、高い目標値に変更したということがありました。確かに、各担当者まかせでは、低い目標設定になってしまうことがありますので、参考にさせていただきます。

委員 : 貯水槽の設置の達成率は良いが、ハードに関することは予算さえあれば達成できる。消防団員の確保などソフト面のことは、予算があってもそれなりの活動をしなければ難しいと思う。

外部の目から厳しく目標値を設定しなければならない。今回の評価結果は良すぎるように感じる。

事務局 : 計画策定の際には、なるべく目標を高く設定するなど、行政としても意識が徐々に変わってきていると思いますが、目標設定が低いために評価結果が良くなっていることはあると思います。必ずしもこの評価結果が市民の皆様が感じていることとイコールであるとは考えておりませんので、引き続き厳しい目で見たいと考えております。

委員 : 説明の中で、評価表を作成する際にヒアリングを実施したとあったが、目標値の設定の段階ではヒアリングを実施しているか。

事務局 : 目標値の設定についてもヒアリングを実施しております。

委員 : 事業番号 22 番の消防団運営事業で消防車両の更新数が目標の 4 に対し実績が 3 とあるが、目標に届かなかったのは予算が確保できなかったのか、それとも要望が無かったのか。

事務局 : 4 年間の目標値を計画期間が始まる前に設定しており、その後予算を要求しますので、他の予算との兼ね合いから、予算がつかなかったということがあります。

委員 : 他の事業でも、予算がつかなかったために目標値に届かなかったものがあると考えられるということか。

事務局 : 目標値は当初の設定を計画期間中には変更しないこととしているため、途中で事業の実施方法が変わった場合などは、その指標だけ見れば事業を実施していないように見える場合があります。

そういった場合は、目標値の変更はできませんが、他の指標を設定するなどに対応しております。

委員 : 先日、バスのアンケートがあった。少しずつ市民の意見が届いてきているなど実感がある。

消防団員数は減ってきているが、自主防災組織は増えてきているようだ。ひとつの事業だけでなく全体で見れば良くなっているように感じる。

印西市には、ここでしか体験できないような施設がない。里山を活用した体験型の施設など、市民だけでなく外部からも人を呼び、市が活性化するような施設が必要だと思う。

委員 : 市の施設で、市民から機材が壊れているなどの苦情が寄せられた場合、すぐに直すことができるのか。予算取りをして翌年度に対応することになるのか。

事務局 : 各施設で修繕費を持っておりますので、簡単な修繕であればすぐに対応できますが、そうでないものは予算取りをしてから対応することになります。

委員 : ファミリア館のテーブルが5台くらい故障していて、施設には伝えてあるが、半年以上経っても直らない。

事務局 : 具体的なお話しをいただきましたので早速確認します。

委員 : 本埜地区にはお年寄りなどの買い物難民が多く、社会福祉協議会の買い物ツアーにはよるこんで参加している。バスが巡回しても無駄になってしまうことが多いので、デマンドタクシーなどにした方がよい。

事務局 : 議会でも質問が出ており、市としても前向きに進めているところでございます。

議長 : 行政評価結果については以上とさせていただきます。気がついたことがありましたら事務局に意見を出させてくださいということにさせていただきます。

次に議事(2)の審議会意見への対応方針について事務局から説明願います。

【事務局 議事(2)について説明】

議長 : 事務局の説明が終わりました。審議会意見への対応方針についてご意見・ご質問を伺います。

委員 : 前年度の会議で意見を申したことについて、議事録から削除してほしいと言われ同意したが、それでは意味が無くなると思う。

署名人が署名した議事録が各委員に送られていたが、担当職員が変わってから疎かになっているがどうなっているか。

事務局 : 会議録の送付が漏れておりました。申し訳ありません。

委員 : 会議録はどこかに保管されているのか。

事務局 : 行政資料コーナーやホームページで公開しています。

- 委員： 印旛沼の水質が COD で 14ppm となっているが、これはワースト 1 か。
- 事務局： 一時下がりましたが、ここ数年ワースト 1 が継続しています。
流入河川の水質はそれほど悪くないということですが、沼で水が滞留することで水質が悪化しているようです。先日の流域市町の会議では首長からへドロの浚渫について話がありましたが、市町だけでは対策は難しいので、引き続き国・県に要望していきます。
- 委員： No.3 の合併処理浄化槽に関する対応方針を見ると、水質浄化に向けて頑張ろうという意思が感じられ
色々と研究していることは耳にしているが、なかなか改善につながっていない。
- 事務局： 先日の流域市町の会議では、人を呼び込むことで水質に対する意識を高め、水質改善につなげていくなど、違った方向からアプローチしたらどうかという話があり、印西市長からも印西市側のサイクリングロードの整備について発言がありました。
そのほかにも、県と流域市町の協議会があり、検討を進めていますが、すぐに結果を出すことは難しい状況です。
- 委員： 水がきれいであれば、印旛沼は景観が良く、空港も近くにあり、観光的にも評価される場所だと思う。もう少し人を呼べるような環境になれば良いと思う。
- 委員： 印旛沼の水は、大和田機場から花見川へはほとんど流していないが、長門川からは汲み上げていないのか。長門川から入ってくれば水が流れるようになる。
- 委員： 酒直機場から汲み上げているが、工業用水として千葉へ行っている。
- 委員： 以前、沼を浚渫して、浚渫土で周辺の田圃をかさ上げる話があったが、どうなっているか。
- 事務局： 詳細を把握しておりませんので、担当課に確認いたします。
- 議長： 本日の議事はこれで終了とさせていただきます。事務局に進行をお返しいたします。
- 事務局： 委員の任期が 8 月末までとなっております。今まで、特に昨年度第 2 次基本計画の策定があり、多大なご協力いただき誠にありがとうございました。それでは以上をもちまして、平成 28 年度第 1 回総合計画審議会を終了いたします。長時間にわたりありがとうございました。

会議資料

会議次第 (A 4 1 枚)

資料 1 平成 27 年度分 行政評価結果報告書 (冊子)

平成 27 年度分行政評価報告書【別冊】 【施策評価票】《施策 1～55》

平成 27 年度分行政評価報告書【別冊】 【事業評価票】《事業 1～205》

資料 2 施策評価・事業評価の結果概要について (A 4 1 枚)

資料 3 本埜地区地域審議会意見への対応方針 (A 4)

平成28年度第1回本埜地区地域審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

平成28年8月30日

委員

委員
